

## 沖地ネット



### 地域づくりを考える！

本県のNPOの登録団体数は360団体余にもなるという。志と使命感のある人々が多いことだと感心する。そこで12名の最低会員数で計算しても4000名を超える方々が活動に参加していることになるのだが、本ネットワークに参加する団体の実数からすると、それだけに会員拡大の機会があるともいえる。

さて、地域づくりは人づくりで『教育は福祉の基盤・福祉は教育の花』とする中で考えると人づくりが鍵となる。そこにあるのは教育の重要性であり、人という資源の発見・活用の重要性をみななければならない。そのような目線で捉えることを必要とするのではないか。さて、その人（リーダー）に求められるもの、それは愛郷心である『単に楽しみを与えるだけの他楽(働く)』ことで由とはできない。つまり、地域づくりの出発点に愛郷心がある。愛郷心は地域づくり関係資源の発掘の目となるものと思う。なおそこに自立心を必要とし、愛郷心のある個人の自立心・独立心ということが地域づくりを前進させる。そのことによって、依頼心から離脱し、もって起業（地域づくり）困って立つところとなる。これらの理由から私の所属するNPO法人の活動項目は、社会教育と地域づくりとしている。

一方政府は「まち・ひと・しごと 創生本部」を設置し地域活性化の司令塔にしているので地域再生法案」とともに、その動向を注目したい。地域づくりを考えているために。

NPO法人カタンニュークラブ代表  
沖縄県地域づくりネットワーク運営委員  
上原 文一

### 活動・事業案内

沖地ネット事務局です。

先日、9月6、7日に本部町備瀬にて開催したシマおこし研修交流会が無事終了しました。延べ44人の方々に参加していただきました。ご参加された方々、講演・事例発表された方々ありがとうございました。詳細は別紙をご覧ください。

また、来る11月15日(土)には北中城村大城地区で第2回シマおこし研修を『第12回大城スージグラー美術館』開催に合わせて実施致します。こちらは先着20名とさせていただきますので、参加される方はお早目に事務局までご連絡下さい。

一方、沖地ネットでは団体活動助成事業を行っています。申請書、不明な点は事務局までお問い合わせ下さい。

- ①重点支援事業：上限20万円 1件(申込期限11月末)
- ②交流活動促進：上限5万円 2件(申込期限11月末)
- ③一般活動促進：上限4万円 5件(申込期限1月末)



## 民間活動紹介

小麦栽培で島おこし

結のところで明日を拓く

ウムヤス来間島

はじめに、来間島は、宮古島本島からさらに2km離れた所で、総面積2.84km<sup>2</sup>、周囲9km四方海に囲まれた風光明媚な景観を持つ小さな島です。平成7年に日本で一番長い農道橋来間大橋が開通し多くの観光客が訪れています。平成26年1月現在の人口は、171人でそのうち65歳以上の人口が87人で高齢化率51%の限界集落です。

当法人は、この島で平成19年6月19日に認可されて満7年が経ちました。これまでの活動実績は高齢者の外出支援、自然環境保全活動、空き家の実態調査及び持主の意向調査、移住受入相談、島に自生している食べられる植物の分布調査、自然探索等を行い、あらゆる資源を活用して、定住、仕事に結びつける新たなビジネスモデルを作ることを目指した取り組みをしています。

それに加えて、今後の活動ビジョンとして、現在力を入れているのが、昔からつくられていた穀物類(小麦・大豆・小豆等)を中心に栽培し、製品化して販売していくこと。地域に根差した伝統的な食品、くりま味噌づくり等の発酵食品を継承し来間島まるごとブランド化の特産物を開発していく計画です。そのためには、地元農家が生産した穀物、野菜類を中心とした地産地消のための飲食店、直売所、加工所の施設整備が急務の課題であることを痛感しています。

NPO 法人ウムヤス来間島

代表 仲松 義雄



「だんご汁(すいとん) 試食会」



「麦の収穫風景」

## 行政活動紹介

中部広域市町村圏事務組合は沖縄市、うるま市、宜野湾市、北谷町、嘉手納町、西原町、読谷村、北中城村、中城村で構成している一部事務組合です。構成市町村に共通する事務を共同処理することを目的に設立されました。

当組合では、ふるさと市町村圏基金の運用益を活用したソフト事業を実施しています。

事業には「島クトゥバシ話やびら大会補助事業」「最上広域圏児童の受入・派遣交流事業」「おきなわマラソン補助事業」「花と緑のまちづくりコンクール補助事業」などがあります。

また、中部広域圏の一体性を高め、広域的な地域づくりの推進に寄与するイベントに対し、助成金を交付する「地域間連携・交流イベント助成事業」を実施しています。市町村の各団体が連携して行うイベントを支援する助成金となっていますので、ぜひご活用ください。

当組合では、個性豊かな地域特性を「資源」としてとらえ、中部広域圏の連携・交流のさらなる活性化を目指していきます。

中部広域市町村圏事務組合

沖縄県地域づくりネットワーク運営委員

仲宗根 寛



中部を代表する

スポーツイベント「おきなわマラソン」

## シマおこし研修交流会（備瀬編）の様子

研修会 会場：備瀬区公民館

会員による事例発表

①「古民家を活かした地域づくり」 「ちゃんや〜」オーナー 喜屋武 信さん



②「民泊と特産品での地域おこし」 伊江村役場公営企業課 松本 壮さん



③「離島での地域おこしの問題点」 NPO法人ウムヤス来間島 国仲 富美男さん



④「地元企業と地域との関わり」 有限会社山川酒造 仲村 三七子さん



⑤沖縄教販による情報発信事業紹介と連携報告 株式会社沖縄教販 浦崎 晃さん



会員情報掲示状況



# 円卓会議



円卓会議の様子



伊計島の11班 仲尾さん



かりゆし塾同窓会 新里さん



本部町役場 兼城主事



備瀬・島づくりの会 喜屋武さん



島尻体験ネットワーク 平良さん



沖縄県 地域・離島課 北島班長



沖地 山城副会長兼運営委員長



宮古島市 まちづくり振興班 平山副班長

## 交流会 会場：備瀬区公民館 交流会



# 夜なべ談義



備瀬地区視察 場所：備瀬集落及び周辺 昼食 レストラン岬





今回のシマおこし研修会交流会の開催にあたり、ご協力いただいた沖地ネット会員のみなさま、本部町役場、伊江村役場、NPO法人備瀬・島づくりの会、NPO法人ウムヤス来間島、有限会社山川酒造、株式会社沖縄教販、更に備瀬地区公民館、古民家の宿「ちゃんや〜」、「かねや」、レストラン岬など関係するみなさまに厚く御礼申し上げます。

また今後も、県内各地でシマおこし研修会を開催を予定しています。その際は、ご協力よろしくお願い致します。

沖縄県地域づくりネットワーク事務局